社会新報（岡山県連合版）

2017年8月1日
（護憲・平和特集）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ榎本ビル5F
TEL03-3553-3731 1部 〒184円・月700円

岡山市北区弓之町5－7 Tel.086－226－1234
発行責任者 武本恒夫
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail：shamin_okayama@fancy.ocn.ne.jp

核兵器禁止条約に日本不参加を糾弾

暑い夏・平和の行動つづく

核兵器を法的に禁止する国連の「核兵器禁止条約」が、122カ国の賛成で採択された。核兵器廃絶の大きな一歩を踏み出した。

核兵器の威嚇も禁止するもので、核抑止力の考えヒバクシャの否定へも大きな意味がある。その前文には広島・長崎の被爆経験を世界に発信し続けた方々の文言が盛り込まれ、筆舌しがたい被爆者の思いが汲み取られている。

一方、日本は核保有国が参加しないアメリカに追随し、「交渉への不参加」を表明した。唯一の被爆国として核兵器廃絶を求める民意に背を向けたことに、強い憤りをもつ。

今年もあらゆる核の廃絶を求めてフクシマ・ナガサキとヒロシマ平和への行進が続く。

広島・長崎に原爆が投下されて72年目の夏、7月17日、連日の酷暑を心配して、例年より1時間早く進行、お孫さん連れや高校生を含め50名が参加。原水禁岡山市民会議の大石和昭議長は「国連が採択した核兵器禁止条約を安倍政権はアメリカに追随して不参加、ヒバクシャの思いに背を向けた」と批判。退女教の内田順子会長は「非力であっても無力ではない。何ができるか、何をしなければならないか」と平和運動継続の重要性を訴えた。

市内大供公園から妹尾まで、「コース最大の難所」笹ヶ瀬川・旧児島線も無事通過、途中「行進団カンパ」が寄せられたり、子ども連れの母子が手を振っての応援があった（写真①）

また、27日には県平和センター（梶原洋一議長）と笠岡～大門を行進、原水禁広島の行進団に引き継いだ（写真②）

運動は若い人にも引き継がれていて、23日、岡山市原爆死没者供養塔（東山）の清掃が地元中学生らによって毎年行われている。（写真③）

①17日、岡山～妹尾の行進団
②27日笠岡～大門（福山）引継ぎ

③中学生も参加して供養塔を清掃

共謀罪の施行を批判、政権を市民が監視しよう

毎月19日のストップ戦争法総がかり行動の街宣を7月19日も駅西口さんすて前で開催、55名が参加した。

各党マイクリレーで社民党武本幹事長は、一億総監視社会をもたらす共謀罪や憲法9条改憲の動きを批判した。話題となった「暴言」議員の言葉をもじって、核兵器禁止条約の採択に加わらなかった日本の態度を批判する「ちがうだコール」を繰り広げ、通行中の女性が立ち止まって聴いていた。

毎月の党定例街宣も続けており、26日も駅マツキヨ前で県連合役員が交代でマイクを持ち、前日まで国会審議の「加計・日報」問題やアベノミクスを取り上げて社民党の政策を訴えた。

7/26・マイクを持つ武本幹事長

戦争法違憲訴訟 4人が意見陳述

安保法制違憲訴訟の岡山原告団は7月12日、岡山地裁で第3回意見陳述を行った。

法廷では4人が堂々と発言、法廷を埋めた傍聴者から拍手が起こり、裁判長から注意を受ける場面があった（裏面）

酷暑をのりきる一品・ゴーヤの佃煮レシピ

ゴーヤ（丸ごと）1kg ・砂糖 200g
しょう油・酢 各100cc
昆布・干し椎茸・唐辛子・ゴマ・鰹節 各適量
①ゴーヤの種、わたを取りスライスする
②熱湯でさっと茹でザルにあげる（しぼらない）
③砂糖・しょう油・酢を一煮立ちさせた中に、ゴーヤ・干し椎茸（戻しておく）・唐辛子を入れて約1時間弱火で煮る。
④汁気がなくなったら火を止め、鰹節・ゴマを入れる（ひ）

根室ながきり昆布
200g 1000円
社民党県連合まで

党県連合活動日誌

7/3 アベ政治を許さないプラスター行動
7/8 全国機関紙会議（大阪：野崎）
7/11 「新報」読者会
7/12 戦争法違憲訴訟 意見陳述（岡山地裁）
7/13 1・2区党員会議（岡山）
7/17 原水禁県民会議・平和行進（岡山）
7/19 ストップ戦争法 総がかり
7/23 原爆死没者供養塔・清掃 （岡山市）
7/24 さよなら原発実行委
7/26 党定例街宣（岡山）
7/27 平和行進・県平和センター（広島引継ぎ）
7/28 おかやまいっぽん意見交換会
〃 弓之町・時事問題懇話会
8/4～5 原水禁・広島（10）
8/19 総がかり 13：00 駅西口さんすて

七夕

といえば今でも7月7日に願い事を笹につるすのだろうか。織女星、牽牛星など夜空に輝く星は、肉眼で見えるもので約8千個、全天球の北・南半球ではその倍ほどか▼満天に輝く星の一つひとつが太陽と同じ自ら光を出す恒星であることに、なぜか不思議な感動を覚える。当たり前のように輝く星を改めて意識してからのことだ▼意識しなくても星は輝き続けるが、意識することで新たな発見や興味、変化につながる。私たちの日常でも、多くの場合、見て意識しないか、忖度して見ないことにするかだ▼「パンとサーカス」とは、古代ローマ市民を支配した為政者が食べ物と娯楽で政治へ意識を向けさせない手法だった。今ではフェイク（うそ）ニュースと知らせない情報操作か▼国会閉会中の「加計・自衛隊日報」問題は、森友学園の教育勅語や国有地売却問題へ疑問（意識）を持った地元・豊中市議から始まった。おごりの友だち政治で、国民の声を意識することを忘れた代償は大きい（の）

定例学習・読者会

「新報」読者会
8月8日（第2火）18時
弓之町「時事問題懇話会」
8月25日（月末金）18時
＊聞きたい、話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館